

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 菊陵 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、2年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走・20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択するため8種目となる

(2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

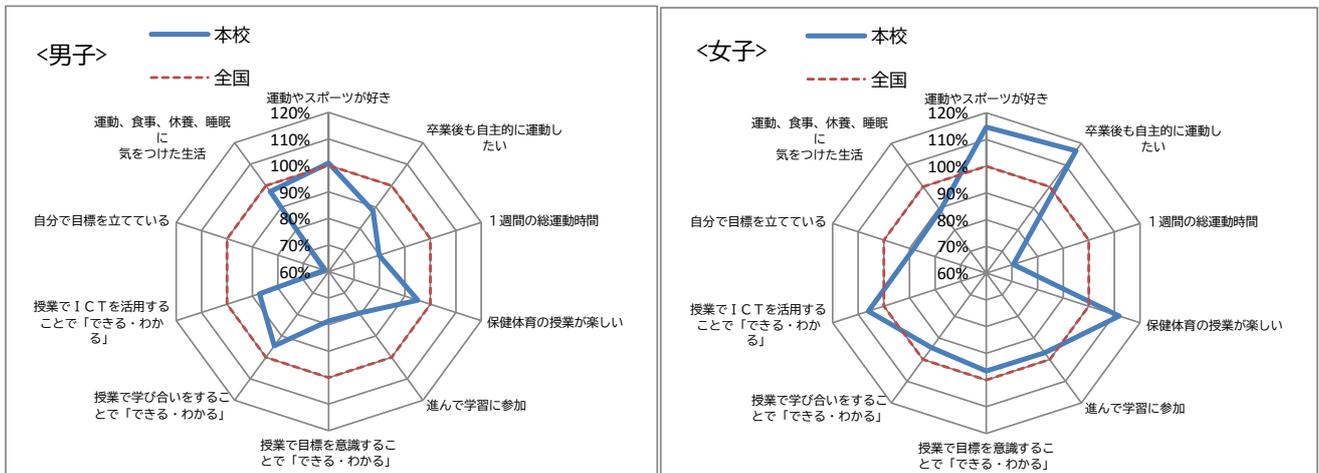
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	28.95	26.09	45.12	51.64	409.25	78.82	8.00	197.51	20.74	42.2
本市	29.68	26.06	46.16	52.78	410.16	81.09	7.88	199.92	20.42	43.36
本校全国平均以上の種目	○			○	△	○		○	○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	23.15	21.70	46.99	45.74	309.66	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58
本市	23.73	21.88	47.43	46.70	309.06	52.42	8.84	170.22	12.10	49.03
本校全国平均以上の種目	○			○	△	○		○	○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査レーダーチャート



質問調査の結果分析

「運動やスポーツが好き」と回答した生徒の割合が男女とも全国平均を上回っていた。一方、各項目で男女にばらつきが見られた。その中でも、男子は「自分で目標を立てている」、女子は「1週間の総運動時間」が全国平均を大きく下回る結果となった。自分で目標を立てることができるよう、「めあて」を明確にし、スポーツの楽しさを実感できる教科(授業)に関する取組、運動習慣に関する取組共に重点的な手立てを講じる必

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

本時の「めあて」を明確にし、その中で生徒が自分の目標を明確にすることができるような授業づくりを行う。授業の終末では、振り返りの時間を確保することで生徒が「分かった」「できた」を実感するとともに、自分の目標を達成できたか、次時の目標は何かを明確にすることができるようにする。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

毎時間の体育授業導入時に、個別の目標を立てることができる「筋力トレーニング」に継続的に取り組むことで、運動の習慣化や運動に対する親和的態度の育成を図るとともに、仲間と体を動かすことの楽しさを実感できるようにする。